

甲良町

統合型 GIS 構築・運用保守業務委託

仕様書

甲良町総務課

令和 7 年 1 1 月

目次

第1章 総則	- 1 -
第1条 (適用範囲)	- 1 -
第2条 (目的)	- 1 -
第3条 (履行期間)	- 1 -
第4条 (準拠法令等)	- 1 -
第5条 (貸与資料)	- 2 -
第6条 (情報セキュリティポリシーの厳守・品質管理)	- 2 -
第7条 (クラウドサービスの安全性確保)	- 2 -
第8条 (配置技術者)	- 3 -
第9条 (提出書類)	- 3 -
第10条 (事故対応)	- 3 -
第11条 (打合せ協議等)	- 4 -
第12条 (機密保持)	- 4 -
第13条 (再委託の禁止)	- 4 -
第14条 (疑義の解決)	- 4 -
第15条 (著作権、所有権、及び使用権許諾契約)	- 4 -
第16条 (業務報告書)	- 4 -
第2章 業務概要	- 5 -
第17条 (業務概要)	- 5 -
第3章 共通項目	- 5 -
第18条 (計画準備)	- 5 -
第19条 (資料収集整理)	- 5 -
第20条 (実施要件)	- 5 -
第21条 (データセンターの要件)	- 5 -
第4章 統合型 GIS システム構築業務	- 7 -
第22条 (システム概要)	- 7 -
第23条 (基本要件)	- 7 -
第24条 (システム環境構築・初期設定)	- 10 -
第25条 (データベース構築)	- 10 -
第26条 (データ検証)	- 11 -
第27条 (システムセットアップ及び稼働テスト)	- 11 -
第5章 統合型 GIS システム運用保守業務	- 12 -
第28条 (概要)	- 12 -
第29条 (マニュアル作成)	- 12 -
第30条 (操作研修の実施)	- 12 -
第31条 (保守サポート)	- 13 -
第32条 (保守業務の適用除外)	- 15 -
第33条 (データ更新)	- 15 -
第34条 (成果品)	- 16 -
第35条 (成果品の検査・納品)	- 16 -
第36条 (成果品の瑕疵)	- 16 -
第37条 (提出先)	- 16 -

別紙1 搭載・移行データ概要

別紙2 機能要件一覧

第 1 章 総則

第 1 条 （適用範囲）

- 1 本仕様書は、甲良町（以下、「発注者」という）が発注する統合型 GIS 構築・運用保守業務（以下、「本業務」という）に適用するものとする。

第 2 条 （目的）

- 1 本業務は、本町にて導入済みの地図に関連する情報を統一的なデータベースとして整備し、LGWAN-ASP 方式によるクラウドサービス環境により庁内で横断的に活用できる地図情報システム（以下、「統合型 GIS」という。）を構築し、部署間での情報共有を促進することで、更なる行政業務の効率化と高度化を促すとともに、重複投資の回避を図る。

第 3 条 （履行期間）

- 1 本業務の履行期間は以下の通りとする。
 - （1）統合型 GIS システム構築業務
契約締結日から令和 8 年 3 月 31 日まで
 - （2）統合型 GIS システム運用保守業務
令和 8 年 4 月 1 日から令和 13 年 3 月 31 日まで
- 2 前項第 2 号の業務は、甲良町長期継続契約を締結することができる契約を定める条例（平成 23 年条例第 2 号）に基づく長期継続契約となり、議会の承認による債務負担行為を設定していない。このため、契約期間中の年度において歳出予算が削減される場合があり、この変更又は削除に伴い損害が生じたときは、その損害の賠償を町に請求することができるものとする。

第 4 条 （準拠法令等）

- 1 本業務は、本仕様書によるほか、下記法令・通達・基準等に準拠して実施するものとする。
 - （1）地理空間情報活用推進法（平成 19 年法律第 63 号）
 - （2）地理空間情報活用推進基本計画（令和 4 年閣議決定）
 - （3）測量法（昭和 24 年法律第 188 号）、同施行令（昭和 24 年政令第 322 号）、同施行規則（昭和 24 年建設省令第 16 号）
 - （4）作業規程の準則（国土交通省告示第 413 号 平成 20 年 3 月 31 日）
 - （5）国土交通省国土地理院「国土基本図図式規程」
 - （6）統合型 GIS 推進指針（平成 20 年 3 月 総務省）
 - （7）著作権法（昭和 45 年法律第 48 号）
 - （8）個人情報の保護に関する法律（平成 15 年法律第 57 号）

- (9) 行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律（平成 15 年法律第 58 号）
- (10) 甲良町個人情報の保護に関する法律施行条例
- (11) 甲良町財務規則及び関係諸規則
- (12) その他の関係法令及び通達、条例・例規並びに諸規則等

第 5 条 （貸与資料）

- 1 発注者は受注者と協議の上、業務を実施するため必要とみなされる関係資料等を受注者に貸与するものとする。
 - (1) 受注者は、貸与された関係資料等についてその重要性を十分に認識し丁寧に扱い、盗難、紛失又は損傷させてはならない。万一、盗難、紛失又は損傷させた場合は、受注者の責任と費用負担において修復しなければならない。
 - (2) 受注者は、貸与された関係資料については、本業務の目的以外にこれを使用してはならない。なお、関係資料を複写又は複製する必要がある場合は、発注者に文書で報告し、承諾を受けるものとする。
 - (3) 受注者は、貸与された関係資料等の必要がなくなった場合は、直ちに返納するものとする。

第 6 条 （情報セキュリティポリシーの厳守・品質管理）

- 1 受注者及び業務従事者はセキュリティ対策及び個人情報保護に精通し、外部への情報漏洩が無いよう徹底した管理を実施することとし、品質確保、環境対策及び情報管理の徹底を担保するため、以下全ての認証（認定）を受けているものとする。
 - (1) 情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) : ISO/IEC27001 又は JISQ27001
 - (2) プライバシーマーク : JISQ15001
 - (3) 品質マネジメントシステム : ISO9001 又は JISQ9001
 - (4) 環境マネジメントシステム : ISO14001 又は JISQ14001
- 2 受注者は、前項各号の認証（認定）を証するため、資格証等の写しを発注者へ提出するものとする。

第 7 条 （クラウドサービスの安全性確保）

- 1 受注者は、本業務の進行に関し、国が閣議決定した「デジタル・ガバメント推進方針(平成 29 年 5 月)」及び「デジタル・ガバメント実行計画(平成 30 年 1 月)」に準拠するものとし、クラウドサービスの委託先として信頼性が十分であることを総合的・客観的に評価するため、以下全ての認証（認定）を受けているものとする。
 - (1) クラウドサービスセキュリティ : ISO27017 又は JISQ27017
 - (2) 経済産業省が定める D X 認定制度に基づく D X 認定事業者
- 2 受注者は、前項各号の認証（認定）を証するため、資格証等の写しを発注者へ提出するものとする。

第8条 （配置技術者）

- 1 受注者は本業務の実施に際して、本業務の意図及び目的を十分に理解し、技術面の管理を行うため、必要な地理情報システムの専門知識と十分な業務経験を有した技術者を配置するものとする。ただし、管理技術者が照査技術者又は担当技術者を兼ねることはできない。
- 2 受注者は、以下の項目に示す技術者を配置するものとし、資格証の写しを本業務の着手に先立ち提出するものとする。

技術者名称	概要
管理技術者	発注者の指示に従い、本業務全体を総括管理するものとし、過去 5 年以内に地方自治体において、LGWAN-ASP 方式による統合型 GIS 構築業務の実績（管理技術者、照査技術者、担当技術者）を有している者で、測量士且つ応用情報技術者又は測量士且つ公益社団法人日本測量協会が認定する空間情報総括監理技術者の資格を有する者
照査技術者	業務全般の照査を行い、成果品の品質を確保するものとし、過去 5 年以内に地方自治体において、統合型 GIS 構築業務の実績（管理技術者、照査技術者、担当技術者）を有している者で、測量士、応用情報技術者又は空間情報総括監理技術者のいずれかの資格を有する者
担当技術者	統合型 GIS 構築業務に必要な資格を有している者

第9条 （提出書類）

- 1 受注者は、本業務を実施するにあたり以下の書類を作成し、発注者の承諾を得なければならない。
 - （1）業務実施計画書
 - （2）業務着手届
 - （3）工程表
 - （4）技術者届等及び経歴書並びに資格証等写し
 - （5）その他、発注者の指示する書類

第10条 （事故対応）

- 1 受注者は、本業務実施中に生じた諸事故等に対して一切の責任を負い、発注者に発生原因、経過、被害内容その他必要事項を報告し、発注者の指示に従うものとする。
- 2 発注者の責によらない損害賠償の請求があった場合、受注者に置いて処理するものとする。

第 11 条 （打合せ協議等）

- 1 本業務を適正かつ円滑に実施するため、担当者と密接な連絡をとり、業務の方針及び条件等の疑義を正すものとし、その都度、打合せ記録簿として記録し、担当者の確認をとるものとする。
- 2 発注者は、必要に応じて本業務の途中においても、本仕様書に基づいて検査又は確認を行い、不適当な箇所について必要な指示を与えることが出来るものとし、受注者は訂正等の指示を受けた場合は、速やかにその指示に従わなければならないものとする。

第 12 条 （機密保持）

- 1 受注者は、本業務において知り得た情報に関する秘密、その他、発注者の事務に関する機密事項等を第三者に漏洩してはならない。また、成果品（本業務の履行過程で得られた記録等を含む）を発注者の承諾を得ず第三者に閲覧させ、複製させ、又は譲渡してはならない。
- 2 前項は、本業務終了後も同様とする。

第 13 条 （再委託の禁止）

- 1 受注者は、本業務を第三者に再委託してはならない。ただし、業務の一部につき事前に内容を明らかにした書面により発注者の承諾を得た場合はこの限りでない。
- 2 前項ただし書きについて、本業務の主たる部分（システムの開発、ASP サービスの運営・管理等）に関する再委託は認めないものとする。

第 14 条 （疑義の解決）

- 1 本業務の契約書の各事項及び本仕様書について疑義、または定めのない事項が生じた場合は、発注者と受注者の協議の上、決定するものとする。

第 15 条 （著作権、所有権、及び使用权許諾契約）

- 1 本業務による成果品の著作権及び所有権は、本業務において使用する市販ソフトウェアの著作権（受注者保有のパッケージソフトウェアの著作権を含む）を除き、全て発注者に帰属するものとする。

第 16 条 （業務報告書）

- 1 本業務で実施した内容を取りまとめ、業務報告書として整理し、成果品として提出するものとする。

第2章 業務概要

第17条 （業務概要）

- 1 本業務の作業概要は下記に示す項目であり、詳細は次章以降によるものとする。
 - (1) 共通項目
 - (2) 統合型 GIS システム構築業務
 - (3) 統合型 GIS システム運用保守業務

第3章 共通項目

第18条 （計画準備）

- 1 受注者は、業務を円滑に遂行するため、作業ごとに作業手法、工程計画および作業体制についての計画を立案し、作業実施計画書として取りまとめ発注者の承認を得るものとする。

第19条 （資料収集整理）

- 1 本業務にて必要となる資料の収集・整理を行い、発注者の承諾のもとに資料の複製をするものとする。
- 2 発注者が提示する資料は、原則として最新のものとし、データ化された資料については極力データによるものとし、かつ流通性が高いフォーマットにより貸与するものとする。

第20条 （実施要件）

- 1 本業務で導入する統合型 GIS は、機能要件を踏まえ、パッケージにより受注者のデータセンターにシステムを構築し、LGWAN-ASP 方式により発注者の庁内 LAN に接続された各種端末において利用するものとする。
- 2 受注者は、システム化領域の確定、制約条件の整理、発注者が求める機能・非機能要件の整理を行うことのほか、搭載するレイヤ構成・権限設定等についても発注者と協議の上、整理すること。
- 3 統合型 GIS に関する操作方法や機能に関する質問等を集約、対応可能な専任オペレータによる専用サポート窓口を持ち、電話、電子メールにて質問等が行えること。

第21条 （データセンターの要件）

- 1 データセンターの要求仕様は下記のとおりとする。
 - (1) データセンターは日本国内にあること。
 - (2) 施設が耐震(免震)であり、震度7以上の地震に耐えられ建物の倒壊、崩壊の恐れがな

いものであること。

- (3) 防水対策が取られ、サーバールームは、設備機器に影響を与えないよう、水を使用しない不活性ガスの消化設備を備えていること。
- (4) 避雷対策がとられ、JIS 規格に準じた避雷施設に加え、内部雷保護システムに対応した雷対策が講じられていること。
- (5) 24 時間 365 日稼働対応していること。
- (6) 電力会社から 2 系統以上で受電していることに加え、停電時に備えた非常用発電設備を有し、発電設備がサーバ機器に電力供給可能になるまで、十分な容量を保持する無停電電源装置が設置されていること。
- (7) 情報セキュリティマネジメントシステム (ISO27001) 適合性評価制度の認定を受けていること。
- (8) データセンターへの入退室管理が有人とセキュリティ管理システムを合わせて行っていること。
- (9) 入退室管理は生体認証や監視カメラの設置等の対策が講じられていること。
- (10) サーバ、ファイアウォール機器の通信機器等は二重構造化とし、システム停止がないよう対策を講じていること。
- (11) バックアップ機器を備えていること。障害発生時には迅速にデータ復旧が可能であり、バックアップ先についてもセキュリティ対策を十分に講じていること。
- (12) 受注者は、発注者がデータセンターへの立ち入りを求めた場合承諾すること。

第4章 統合型 GIS システム構築業務

第22条 (システム概要)

- 1 統合型 GIS は、LGWAN-ASP 方式により、庁内 LAN (LGWAN 接続系ネットワーク) に接続する既存職員端末から地図情報を閲覧・編集等が可能なシステムを構築するものとし、併せて現地調査等に際して、発注者が管理するモバイル端末から統合型 GIS へアクセスし情報の登録を行えるシステムも合わせて構築するものとする。
- 2 システム構築業務は令和8年3月31日までに完了するものとする。

第23条 (基本要件)

- 1 統合型 GIS の構築における基本要件は下記のとおりとする。

項目	内容
運用方式	LGWAN-ASP 方式
ライセンス数	・要求する同時接続ライセンス数は次のとおり。 ①統合型 GIS : 10 ライセンス ②モバイル端末利用 : 5 ライセンス ・住宅地図は、同時に 10 ライセンスを使用できるよう、買取方式により受注者が調達すること。 ・(参考) 庁内端末数約 100 台
動作環境	・発注者の LGWAN 接続系ネットワーク帯域は次のとおり。 100Mbps (ベストエフォート) ・利用にあたり一般的なパソコン等が有する基本的な機能で動作するものとし、原則としてプラグイン等の特別なソフトのダウンロードが必要な仕組みや、Java アプレット、.NET Framework 等の使用機種に制限を与えるようなものが無いこと。端末機にプログラムのインストールが必要な場合は受注者において作業を行うこと。 ・発注者で保有する職員端末は以下のとおり。 CPU : Intel Corei5-1235U (2.50 GHz) OS: Windows11 pro メモリ : 8GB ブラウザ: Microsoft Edge、Google Chrome
搭載データ	・システムに搭載・移行するデータは別紙1「搭載・移行データ概要」を基本とするが、発注者と受注者が協議の上、詳細を決定するものとする。 ・データ消失を伴う障害発生時において、障害発生前日の状態にデ

	ータを復元することを目的として、適切なバックアップ管理を行うこと。 ・搭載するレイヤ数に制限がないこと。データ量の増加に伴い、費用に変更がある場合には、あらかじめ明示すること。
背景図	・統合型 GIS で利用可能な背景図は下表を基本とする。 ①都市計画図：発注者が提供 ②道路台帳図：発注者が提供 ③航空写真：発注者が提供 ④住宅地図：受注者が調達
基本要件	・地図の拡大/縮小や移動の表示速度やメニューボタンの操作感など基本的な操作については、ストレスなく地図遷移や画面展開が可能である等、動作速度が優れたシステムであること。 ・構築するシステムは、利用者にとって簡便で分かりやすい操作体系と機能の配置により、マニュアルに頼らなくても利用可能なインターフェイスとすること。 ・国等における地理情報関連の標準化の動向、地理情報システムの最新技術動向等を踏まえたシステムとすること。 ・将来的な利用者数増(同時接続数)及びレイヤ数増に対し、柔軟に対応できるシステムとすること。 ・GIS エンジン及びアプリケーションは、受注者が開発したものであり、著作権が第三者となるソフトウェアの利用がないシステムであること。 ・基本的にカスタマイズを要しないパッケージシステムとし、バージョンアップ等により最適な状態で利用できること。ただし、データ相互流通を考慮し、データ交換等が容易である等システムの拡張性があり、セキュリティ、経済性等に配慮した機器構成及びパッケージ商品を選定すること。 ・一般財団法人全国地域情報課推進協会（APPLIC）が推進する地域情報プラットフォーム（GIS ユニット）に準拠した登録製品であること。 ・地方公共団体情報システム機構による、LGWAN-ASP サービスのうち「アプリケーションおよびコンテンツサービス」へ登録されていること。
システム機能	・GIS からの出力図の地図の品質について、各種図面の注記表現が、鮮明に読み取れること。 ・管理者以外の一般ユーザーにより簡易的に業務レイヤの追加、属性設定が行えること。追加された業務レイヤはグループ単位、全

	庁公開への権限変更が行えること。 ・使用頻度の高い、標準的な A4・A3 サイズの印刷レイアウトを設定し、当該レイアウトについては、地図の方位記号、縮尺、印刷日時、印刷ユーザー名の要素についても任意に印字できるよう設定できること。なお印刷レイアウトの詳細については、発注者と受注者の協議の上決定するものとする。 ・地図情報を画面上に表示する際、また、印刷図として紙面に印字する際には、平面直角座標系で表示するものとし、可能な限り測量精度を厳密に保った形での地図表現を行うものとする。 ・関係図書が法令等で定められている情報については、その印刷書式に則った正確な色表現、ライン及びハッチングパターンを設定するものとし、背景地図が見づらくなならないよう発注者と協議のうえ着色等の調整が可能であること。 ・その他必要な機能要件は、別紙 2「機能要件一覧」に記載のとおりとする。ただし、対応できない機能については本業務内でシステムのカスタマイズ、又は代替案を提示すること。
システム稼働	・システムの稼働率は 99.5%以上であること。ただし、事前に発注者が許可したメンテナンス等については、故障時間に含めない。 ・24 時間 365 日運用可能であること。ただし、必要と認められる計画停止については、発注者と事前協議を行なうことで可とする。 ・受注者の過失による障害や運用ミス等によりデータを消失した場合、直近のバックアップデータでリストアが可能であること。 ・アクセスログ等の各種ログを保管できること。
ユーザ管理	・データの正当性を担保するため ID とパスワードによるユーザー認証とユーザの操作権限設定の仕組みを有すること。 ・本システムのデータ閲覧・更新・出力については、所属、レイヤ単位、属性項目毎に利用権限設定を行えること。 ・利用ログを取得、管理および分析することにより、アクセス者や問題の検知、発生有無を判断できること。 ・ログイン中の端末において、一定時間システムの操作がない場合、自動ログオフを設定可能なこと。 ・優先ログインできるユーザーを設定し、必要なライセンスをユーザに固定（確保）する機能を有していること。 ・住宅地図等、ライセンス数の制限（ユーザ数又は同時接続数）に応じて、対象の地図の選択・表示を制限できること。
セキュリティ等	・外部からの攻撃や進入を防ぐため、ウイルス対策ソフトを導入する等のセキュリティ対策を講じること。

	・24 時間 365 日の安定運用に向けた運用体制、環境、セキュリティ管理等が整備されていること。障害発生時にサービスの早期復旧に備えた仕組みを有していること。 ・サーバ・アプリケーションの導入、運用および、保守作業の全てについて、受注者の管理下において直接行うこと。責任の所在が不明確とならないよう、管理体制を構築すること。
モバイル端末利用環境	・発注者が所有するモバイル端末からキャリア回線を通じ、LGWAN-ASP の統合型 GIS へ情報を登録できること。 ・背景地図は、都市計画図、道路台帳図、航空写真とすること。 ・モバイル端末へのアプリインストールが必要なものや、庁内の統合型 GIS へ情報が即座に連携されないもの（バッチ処理の連携など）、手動の情報同期作業が必要なものでないこと。 ・ユーザー認証を経て利用が可能であること。この場合、利用に必要なとなるユーザーID およびパスワードの設定を行うこと。 ・モバイル端末利用において参照・編集を行うレイヤの初期設定が行われること。
保有データの提供	・契約満了時には、必要に応じ本業務で登録した地図情報及び附属情報のうち、発注者が情報管理権限を有する情報については、全て抽出し発注者に提供すること。

第 24 条 （システム環境構築・初期設定）

- 1 受注者は、システム構築・データセットアップに先立ち十分なシステム検証を実施した上で、稼働及び運用に必要な環境設定並びに必要な調整を行うものとする。
- 2 詳細については発注者と受注者が協議の上、決定するものとする。
 - （1）システム要件（制約条件、機能・非機能要件の整理を含む）
 - （2）アカウント構成（ユーザー・ユーザーグループ等）
 - （3）レイヤ構成及び権限構成
 - （4）その他必要なもの

第 25 条 （データベース構築）

- 1 統合型 GIS のシステム環境構築及びデータ移行に際し、データベースの構築は次のとおりとする。
 - （1）発注者は搭載・移行データを原則として Shape 形式その他汎用的なデータ形式にて受注者に貸与するものとする。
 - ①搭載・移行データの破損および改変等が起こらないよう細心の注意のもとに作業を行うこと。
 - ②受注者は搭載・移行データのシステムへの搭載は最終更新日のものをセットアップ

ブすること。

③Shape ファイル形式以外の搭載・移行データについては、受注者により、システムに登載可能なよう、データ化をするものとする。ただし、ベンダー独自形式等のため、変換不能であるものについては別途協議するものとする。

④施設等の情報に関しては、地図データではなく、住所情報を含むテキストデータ等で提供する場合がある。この場合、受注者は住所情報より GIS データを作成し、発注者の確認後、最終的な位置を確定するものとする。

(2) システム上で搭載・移行データが適切に表現ができるよう、必要なレイヤ設定（図形表現範囲・属性管理項目及び順序・関連ファイル設定等）を行うものとし、設定の詳細については、発注者と受注者が協議の上、業務運用に適した内容を決定するものとする。

(3) レイヤ毎に個々の属性表示及び入力画面を作成すること。

①属性表示（入力）画面内には、ボタンや入力ボックスの他、チェックボックスやコンボボックスなどの部品を配置できること。

②属性項目に応じたボタンやボックスを利用することで、属性入力作業を簡素化するとともに不正な値の入力を防ぐ工夫を施すこと。

第 26 条 （データ検証）

- 1 受注者は、整備されたデータベースが、システム上で正常稼働するよう検証を行い、任意の様式により発注者にデータ検証結果を報告すること。
- 2 検証結果により不備が見受けられる場合には、受注者の責任により修正を行い、発注者が指定する期日迄に再検証を行い、その結果につき承諾を得るものとする。

第 27 条 （システムセットアップ及び稼働テスト）

- 1 受注者は、検証が完了のち、データベースを格納した統合型 GIS を、データセンターにセットアップするものとする。また、セットアップ後、稼働テストを実施するとともに発注者にテスト結果を報告すること。
- 2 受注者は、稼働テストにより、内容に修正の必要が生じた際は、速やかに修正作業を行うものとする。

第5章 統合型 GIS システム運用保守業務

第28条 （概要）

- 1 システム導入時のマニュアル整備及び研修、導入後の保守サポートにより、発注者のスムーズなシステム運用を支援するものとする。
- 2 5年間（令和8年4月1日から令和13年3月31日）をシステムの運用保守期間とする。

第29条 （マニュアル作成）

- 1 統合型 GIS の運用全般において必要となるマニュアル類の整備を行うものとする。マニュアルは一般・管理者向けそれぞれに作成を行うものとする。
- 2 本業務の契約期間内に変更が生じた際には、その都度マニュアルを改訂し、納品すること。
- 3 整備する操作マニュアルは、下表のとおりとする。

分類	利用者	内容
基本操作 マニュアル	一般職員	・統合型 GIS の利用方法について、初心者でも理解しやすいように本システムの画面ハードコピーを駆使し、機能の説明をわかりやすく記述し、各種機能単位に操作の手順、入力方法などを明確に記述すること。 ・特殊な用語を使う必要がある場合は、欄外又は巻末等において用語の説明すること。
管理者機能 操作マニュアル	管理者	・一般職員向けと同様に分かりやすい記述とすること。 ・統合型 GIS に関して、システム管理者が行うべき作業（ユーザ登録・変更・削除、権限設定、レイヤ追加、属性登録、操作ログ取得・閲覧など）の定義及び運用ツールなどの操作方法について記述すること。 ・障害発生時における必要な対処措置などについても、専門的な知識がなくても理解できるよう、分かりやすく記述すること。 ・定期人事異動に伴い発生するアカウント、アクセス権限等の設定変更について、作業手法の指導を行うこと。

第30条 （操作研修の実施）

- 1 受注者は、統合型 GIS を管理運用するうえで必要となる操作やデータ更新方法等について、必要な操作研修を実施するものとする。
- 2 実施内容について、以下の内容を原則とし、職員の利用状況に応じて協議の上、内容

を決定するものとする。

分類	1 回あたり受講人数 (回数)	内容	研修形式
一般職員研修 (基礎編)	20 人 (2 回)	システム概要、システム利用 方法、データ管理・更新方法	実機操作
一般職員研修 (応用編)	20 人 (2 回)		
管理者研修	5 人 (1 回)	ユーザ登録、変更、権限設定、 レイヤ追加、属性登録、操作ロ グ取得、閲覧	実機操作

3 研修に必要な資料及び使用機器は下記のとおりとする。

項目	発注者	受注者	備考
研修会場	○		
研修資料作成		○	
研修資料印刷	○		・印刷が難しいものは受注者
講師用 P C		○	
受講者用 P C	○		
プロジェクタ	○		
スクリーン	○		
その他	○	○	・その他必要なものは協議による

第 31 条 （保守サポート）

1 統合型 GIS 導入後、安定したシステム稼働を維持するために必要なシステム保守サ
ポートを提供するものとする。

2 統合型 GIS の保守サポート内容については、次のとおりとする。

(1) 導入する各システムの保守要件は下記を基準として、サービス提供水準（サービス
レベルアグリーメント。以下「SLA」という。）を発注者と受注者の協議により定めるも
のとし、受注者はその達成に努めるものとする。

SLA 設定項目		内容	設定値
ASP サービス	稼動時間	利用者向けサービスの提供時間。但し、メ ンテナンス時間除く。	24 時間 365 日
	稼動率	サービスの利用が可能な時間のうち、実際 に利用可能な時間の割合	99.5%以上
	データ容量	背景図やレイヤの登録数に関する機能制限	レイヤ制限なし
	死活監視・障害 監視	ハードウェアの死活監視・障害監視の間隔	5 分

	障害通知	障害検知時から発生を通知するまでの時間	1 時間以内
	記録（ログ等）	利用状況、例外処理及びセキュリティ事象のログ保存期間	3 年
	セキュリティパッチ管理	パッチの更新間隔（ベンダーリリースからパッチ更新開始までの時間）	原則 1 回/月（緊急時は、協議）
	バックアップ	バックアップ頻度	週 1 回フルバックアップ、残る 6 回差分バックアップ 3 週間保存
	リカバリポイント	復旧データのバージョン（障害発生から遡り、復旧するデータの時点）	前日バックアップデータまで復旧
サポート	サービス窓口	電話による問合せ受付時間	平日：8:30 18:00 （閉庁日を除く）
		電子メールによる問合せ受付時間	24 時間 365 日
		電話・メールによる問合せへの回答	1 営業日以内に一次回答
	停止事前通知	メンテナンス等の一時的サービス停止時の事前通知	原則 2 週間前に通知
	GIS エンジン・バグ修正プログラム、リビジョンアップ版の配布	GIS エンジン・バグ修正プログラム、リビジョンアップ版の配布	適宜 （サービス停止が伴う場合は協議）
	ウィルス定義更新	データセンターにおける発表後からウィルスチェックソフトの定義ファイル更新までの時間	120 分毎
業務報告	アクセスログ報告	統合型 GIS に対するアクセス状況を集計、整理し、レポートを提出（内容は別途協議）	1 回/月
	業務報告	ログ（アクセス数等）、サービス窓口への問い合わせ履歴その他稼働経過をまとめた年間報告書の提出	1 回/年

- ①緊急時を除き原則発注者の就業時間内のサービス停止は行わないものとする。
- ②システム障害が発生した際には、ただちに発注者へ報告するとともに、職員の利用に影響が出ないよう速やかに対処すること。
- ③アクセスログその他必要なログに関しては、協議の上決定するものとする。
- ④統合型 GIS を管理運用に必要なソフトウェア及びハードウェア（発注者管理のもの）

のを除く)の保守について受注者が責任を持って定期的および随時に行うものとする。

⑤災害時の利用については、発注者と受注者との協議の上、同時アクセス制限解除や遠隔ログインなど、災害対応に有効な利用について、一時的な設定変更を行うものとする。

(2) SLA に関しては、SLA 未達事項が生じた場合における利用料金の減額についても書面にて定めるものとする。

第 32 条 (保守業務の適用除外)

1 統合型 GIS が次の各号のいずれかに該当することにより機能不全に陥った場合、受注者は保守業務の義務を免れるものとする。

- (1) 取り扱い不注意など発注者の使用上の責に帰する事由によるもの
- (2) 火災、風水害、地震等の天災地変及びその他の不可抗力によって生じた障害の復旧に関するもの
- (3) 発注者がマニュアルに記載された操作方法以外の方法によるライセンス物件の使用によるもの
- (4) 発注者が行う契約以外のソフトウェアのインストール又は使用により生じたソフトウェア及びシステムの障害に関するもの
- (5) その他通常の使用以外の原因

第 33 条 (データ更新)

- 1 運用保守期間に必要が生じた場合、発注者から提供するデータにより統合型 GIS に格納したデータの更新(差し替え)を行うこと。この場合、座標系の変換が必要な場合は、適宜変換すること。
- 2 データ更新する地図データの種別及び更新頻度は発注者と受注者で協議により決定するものとする。

第6章 成果品

第34条 （成果品）

1 受注者は、統合型 GIS システム構築業務における成果品として以下の内容を納品することとする。

（1）業務報告書	1 式
（2）打合せ記録簿	1 式
（3）統合型 GIS（同時 10 ライセンス）	1 式
（4）住宅地図データ（同時 10 ライセンス）	1 式
（5）モバイル端末利用（同時 5 ライセンス）	1 式
（6）システム搭載用データベース	1 式
（7）システム操作マニュアル	1 式
（8）各種研修資料	1 式
（9）提案に基づく成果品	1 式
（10）その他発注者が必要と認めるもの	1 式

2 各種ドキュメント等の文書類は Word、Excel、PDF 形式等の電子データでの納品も行うものとする。

3 成果品の納品方法及び形式については、発注者と受注者による協議により、発注者が指定するものとする。

第35条 （成果品の検査・納品）

1 本業務の成果品については、次のとおり発注者の検査を受けるものとする。

（1）統合型 GIS システム構築業務

完了届を添え、管理技術者立会いのうえ発注者の検査を受けるものとする。

（2）統合型 GIS システム運用保守業務

毎年度完了届を提出のうえ、発注者の検査を受けるものとする。

2 前条の成果品は、前項第 1 号の検査完了後に引き渡されるものとする。

第36条 （成果品の瑕疵）

1 納品後、成果物に瑕疵が発見された場合は、発注者の指示に従い、必要な処理を受注者の負担において行うものとする。保証期間は成果物の納入後 1 年とし、保証期間内に品質基準を満たしていないことが判明した場合には、受注者の責任において関連する項目を再検査し、不良個所を修正するものとする。

第37条 （提出先）

1 本業務の完了届の提出先は、甲良町総務課とする。

【別紙 1】 搭載・移行データ概要

グループ 1	グループ 2	グループ 3	レイヤ名
■ 共通			
その他			町字界
			H28_航空写真
			R05_航空写真
			地番図
■ 総務課			
公有財産台帳			土地施設界
			土地ライン
			土地ポリゴン
			家屋ライン
			家屋ポリゴン
			路線ライン
			状類ポリゴン
■ 総務課（防災）			
総合防災マップ	地形図		背景地図_10000
	ハザード	洪水	洪水浸水想定区域（想定最大規模）
			浸水継続時間
			家屋倒壊等氾濫想定区域
			洪水浸水想定区域（想定最大規模）
			浸水継続時間
			家屋倒壊等氾濫想定区域
		土砂災害	急傾斜地R
			急傾斜地Y
			土石流R
			土石流Y
		地震	鈴鹿西縁断層帯（case2）_震度分布
			鈴鹿西縁断層帯（case2）_液状化危険度分布
			南海トラフ巨大地震（陸側ケース）_震度分布
			南海トラフ巨大地震（陸側ケース）_液状化危険度分布
	施設	避難所	指定緊急避難場所・指定避難所（洪水）
			指定緊急避難場所（地震）
			指定避難所（地震）
			福祉避難所
		その他施設	町役場
			警察
			消防署
			浸水想定区域等に係る要配慮者利用施設
			河川防災カメラ
■ 建設水道課（道路）			
付属物点検成果			道路照明点検
			道路反射鏡点検
			道路標識点検
路線			認定路線

		MMS走行経路
		区間（線）
		路線告示
グリーンベルト		グリーンベルト設置
道路附帯施設		看板
		街路灯
		防犯灯
		カーブミラー
		タッチくん
		消火栓
		道路標識
		防火水槽
		電柱
		デリネーター
		植栽
		橋梁点検
防護柵		ガードパイプ_分割
		ガードパイプ
		ガードレール_分割
		ガードレール
		転落防止柵_分割
		転落防止柵
路面性状調査成果		補修候補箇所図H30以降
		補修候補箇所図
		未調査区間
		MCI
		MCI_10m評価_H27
		MCI_10m評価
境界		境界点
		基準点
		周辺地番
		未承諾線
		既明示線
		境界線
		基準点網
		敷地
		敷地（無償使用）
農道		農道電柱
		農道路線
	台帳項目	daicyo_p
		daicyo_t
		daicyo_l
		農振区域図
	水土里データ	排水路_Project
		土壌図_Project

			分水工受益図_Project			
			分水工位置表示_Project			
			パイプ_Project			
			道路_Project			
			農小屋_Project			
			畑_Project			
			田（従前）_Project			
			田_Project			
			用水路_Project			
			施設_Project			
			宅地_Project			
			その他_Project			
			法定外公共物			明示線
						譲与申請位置
公図界						
法定外						
台帳項目			台帳項目（点）			
			台帳項目（注記）			
			台帳項目（線）			
骨格地形図			地形（注記）			
			地形（記号）			
			地形（線）			
地形図	1000	地形注記	基準点_T			
			注記_T			
		地形記号	道路施設_P			
			建物付属構造物_P			
			建物記号_P			
			公共施設_P			
			小物体_P			
			水部_P			
			水部構造物_P			
			諸地_P			
			植生_P			
			基準点_P			
			注記_P			
		地形線	道路_L			
			道路施設_L			
			鉄道_L			
			鉄道施設_L			
			建物_L			
			建物付属構造物_L			
			公共施設_L			
			小物体_L			
			水部_L			
			水部構造物_L			

	2500		構囲_L
			法面_L
			植生_L
		地形注記	基準点_T
			注記_T
		地形記号	道路施設_P
			建物付属構造物_P
			建物記号_P
			小物体_P
			水部構造物_P
			諸地_P
			植生_P
	基準点_P		
	注記_P		
	地形線	道路_L	
		道路施設_L	
		鉄道_L	
		鉄道施設_L	
		建物_L	
		建物付属構造物_L	
		小物体_L	
		水部_L	
		水部構造物_L	
		構囲_L	
		法面_L	
	植生_L		
■建設水道課（下水道）			
下水道台帳			管渠
			管渠引出線
			管渠注記
			人孔
			人孔注記
			取付管
			枡
			枡引出線
			枡注記
			オフセット
			オフセット引出線
			オフセット値
			その他面
			その他線
			その他点
			仮更新
			処理区
			処理分区

			排水区
			排水分区
			区画割
			BM点
下水道用地形			地形（線）500
			地形（点）500
			地形（注記）500
管内図			地形（線）10000
			地形（点）10000
			地形（注記）10000
■産業課			
農振計画成果品			農業振興地域界
			農用地区域（面）
			農用地区域（地番ベース）

別紙2 機能要件一覧

(1) 地図機能

No.	分類	機 能	内 容
1	地図	表示	レイヤーを地図上に表示する
2		レイヤーの解放	凡例上のレイヤー一覧からレイヤーを削除する
3		マップの表示	マップを地図上に表示する
4		表示／非表示の切替	マップ、レイヤーの表示／非表示を切り替える
5		複数画面表示	複数の画面で地図を表示する
6		複数画面の入れ替え	複数の地図画面のうち2つを選択し、位置を入れ替える
7		複数地図の同期	複数の画面で同じ位置を表示する
8		レイヤー一覧凡例表示	レイヤー一覧と凡例を表示する
9		レイヤー表示順の変更	画面に表示しているレイヤーの順番を変更する
10		透過率設定	画面に表示しているレイヤーの透過率を設定する
11		背景のトーン色指定	グレースケールなど背景のトーン色を指定する
12		コピーライト表示	地図の著作権等を表示する
13		中心位置表示	地図の中心座標を表示する
14		マウス座標表示	マウス位置の座標を表示する
15		経緯度による座標表示	経緯度でマウス位置や中心座標を表示する
16		ズームバー表示	ズームバーを表示する
17		スケールバー表示	表示中の地図縮尺に対応したスケールバーを表示する
18		移動	表示地図を任意の方向に一定割合で移動させる
19		ドラッグ移動	マウス操作により地図をつかんだようにして移動する
20		フリースクロール移動	地図を任意方向に連続移動する
21		戻る	1つ前の表示範囲に戻る
22		進む	前の表示範囲の戻したときに戻す前の表示範囲に進む
23		ホーム	プロジェクトの初期表示位置を表示する
24		場所移動	町名や地番を選択し、対象住所の位置を地図表示する
25		地番検索	地番を選択し、対象住所の位置を地図表示する
26		目標物検索	目標物名を選択して対象目標物の位置を地図表示する
27		アドレスマッチングによる場所移動	入力された住所文字列でアドレスマッチングを行った結果で位置を移動する
28		クイック検索（住所）	住所文字列を入力し、対象の位置を地図表示する
29		クイック検索（地番）	地番文字列を入力し、対象の位置を地図表示する
30		クイック検索（目標物）	目標物文字列を入力し、対象の位置を地図表示する
31		クイック検索（平面座標）	指定した平面座標を中心に地図を画面表示する
32		クイック検索（緯度経度（10進））	指定した緯度経度（10進表記）を中心に地図を画面表示する
33		クイック検索（緯度経度（60進））	指定した緯度経度（60進表記）を中心に地図を画面表示する
34		50音かな検索	町字をかな入力して検索する
35		ブックマーク	名称を付けて特定の位置を登録し、登録したものを呼び出すことで移動する
36		拡大／縮小	表示地図の縮尺を一定割合で拡大・縮小する
37		指定範囲拡大／縮小	表示地図領域内で矩形領域を指定し拡大する
38		連続ズーム	表示地図をマウスホイール操作により連続的に拡大・縮小する
39		縮尺指定	リストから選択または入力した縮尺で地図を画面表示する
40		虫眼鏡機能	地図縮尺を変更せずに、地図の一部分を拡大表示する
41		全域表示	地図画面上に表示されているレイヤー全体を表示する
42		レイヤー範囲表示	指定するレイヤーの範囲を地図画面に表示する
43		回転	回転表示させる角度をキー入力する
44		自由回転	スライドバーをマウスドラッグにより、地図を回転表示する
45		索引図	複数の索引図の設定
46		メイン地図の領域表示	全体図（索引図）上に、メイン地図画面の表示領域を示す
47		メイン地図との同期	メイン地図の動きと同期して、メイン地図の領域枠を移動、拡大縮小する
48	メモ	メモ表示	メモレイヤーを読み込み、表示する
49		メモの編集、保存	メモレイヤーの編集内容（図形の登録、更新）を保存する
50		メモの終了	メモの編集モードを終了する
51	データ管理	レイヤー管理	新規レイヤー作成
52		レイヤーの削除	レイヤー名、データソース名、属性の種類を指定し、レイヤーを登録する
53		レイヤーの権限設定	作成したレイヤーを削除する
54		共有レベルの設定	レイヤーに対して、編集・印刷・出力の権限を指定する
55		レイヤーのオーナー設定	レイヤーの共有レベル（全体公開、グループ公開、マイレイヤー）を指定する
56		レイヤー名の変更	レイヤーの所有者を設定する
57		テーブルの再定義	作成済みのレイヤーの名称を変更する
58		外部テーブルの関連付け	レイヤーの属性定義を変更する
59		メタ情報表示	指定したレイヤーに外部属性データを関連付ける
60		メタ情報検索	クリアリングハウスのようにメタ情報を表示、更新する
61		ファイリング	メタ情報を使ってレイヤーを検索する
62		ファイリングデータの参照	図形データに対して関連づけられているファイルを参照する
63		ファイリングデータの登録	図形データに対して任意ファイルに関連づける
64		ファイリングデータの検索	ファイル名、ファイルサイズ、更新日時などの条件でファイルを検索する
65	シンボル／ラベル設	単一シンボル	単一の線種、線色、塗りつぶし色等のシンボル設定をする
66		個別値シンボル	属性値ごとにシンボルを設定してレイヤーを表示する
67		ランキングシンボル	属性値でカテゴリ分けし、カテゴリごとにシンボルを設定してレイヤーを表示する
68		シンボル非表示	シンボルを表示しない設定
69		画像シンボル設定	画像ファイルをレイヤーのシンボルとして設定する
70		単一ラベル	単一の文字種、文字色等のラベル設定を行う
71		個別値ラベル	属性値ごとにラベルを設定してレイヤーを表示する
72		ランキングラベル	属性値でカテゴリ分けし、カテゴリごとにラベルを設定表示する
73		ラベル非表示	ラベルを複数行表示する
74		棒グラフ	ラベルを表示しない設定 属性値を用いて棒グラフを作成し、レイヤー表示する

No.	分類	機 能	内 容
75	検索	円グラフ	属性値を用いて円グラフを作成し、レイヤー表示する
76		クロスランギング	二つのフィールドの値を組み合わせてシンボルを設定して表示する
77		表示縮尺の設定	シンボルやラベルを表示する縮尺範囲を指定する
78		シンボル／ラベル変更の保存	シンボル／ラベルの設定変更をレイヤーセットファイルに保存する
79		シンボル／ラベル変更の破棄	シンボル／ラベルの設定変更を破棄する
80		シンボル／ラベル変更の適用	シンボル／ラベルの設定変更を保存せずに反映する
81		シンボル／ラベルの一括変更	グループレイヤー単位でシンボル／ラベル設定を一括変更する
82		グループレイヤー管	複数のレイヤーをグループ化して保存する
83		読み込み	
84		上書き保存	
85		削除	
86		共有レベルの設定	
87		マップ管理	背景レイヤーと主題レイヤーの組み合わせをマップとして保存する
88		作成	
89		上書き保存	
90		読み込み	
91		削除	
92		共有レベルの設定	マップの共有レベル（全体公開、グループ公開、マイマップ）を指定する
93		作成	
94		上書き保存	
95		読み込み	
96		削除	
97		図式の保存	レイヤーのシンボル設定とは別に、プロジェクト独自のシンボル設定を保存する
98		共有レベルの設定	プロジェクトに対する共有レベルを設定する（全体公開、グループ公開、マイプロジェクト）
99	検索	個別属性表示	初期表示プロジェクトの設定
100		属性照会	ログイン時に読み込むプロジェクトを指定する
101		吹き出し情報表示	地図画面上でクリックした地物の属性を表示する
102		重なった図形から特定	地図画面上でクリックした地物の属性を吹き出しの形状で表示する
103		空間検索	図形が複数重なっている場合に、図形のIDを使って属性照会対象を選択する
104		空間検索	マウス操作により対象領域を指定し、領域内に含まれた地物の属性を表示する（対象領域の指定は、既存図形・新規入力（多角形・円・点・線）から選択可能）
105		検索の追加、絞込み	空間検索や属性検索からの検索結果一覧からさらに検索する
106		多重円検索	半径と中心位置を指定して多重円を作成し、その領域に含まれる地物を検索する
107		複数円検索	ドラッグで複数の円を作成し、その領域に含まれる地物を検索する
108		属性検索	属性検索
109		属性検索	検索条件を設定して属性データを検索し表示する
110		検索条件の抽出	検索しようとするデータ項目にどのようなデータが格納されているかをコンボボックスに表示する
111		検索条件の保存	作成した検索条件を保存する
112		特定属性検索	保存した検索条件を読み出して検索を行う
113		あいまい検索	表示しているレイヤーすべてに対して同時にキーワード検索を行い、キーワードが含まれるレイヤーとそれが含まれる項目名と件数を表示し、さらに絞込み検索をする
114		検索結果の絞込み	検索結果を対象として属性検索をする
115		検索結果の消去	検索結果の色塗りおよび属性一覧の内容を消去する
116		レイヤー検索	レイヤー検索
117		レイヤー検索	選択された検索レイヤーの図形と重なる図形を検索する
118		レイヤー全検索	検索レイヤーの全図形について重なる図形を検索する
119		レイヤー解析	2つのレイヤーを重ね合わせ、重なる（または重ならない）、図形を検索する
120		結果のレイヤー化	検索結果を新規レイヤーとして登録する
121		属性一覧	レイヤーの属性表示
122		属性一覧	検索された、またはすべてのレイヤーの属性を一覧表に表示する
123		検索結果の強調表示	検索された属性情報に対応する地物を強調表示する
124		選択範囲表示	検索結果の属性一覧で選択された属性情報に対応する地物を地図表示する
125		並べ替え	検索結果の属性一覧を昇順もしくは降順に並べ替え表示をする
126		属性一括更新	指定した属性項目について、属性一覧上に表示されている全行を一括で更新する
127		属性照会	属性一覧上で選択された属性情報を単票形式で表示する
128		属性編集	単票形式で表示した属性の内容を編集する
129		属性編集補助	リストやカレンダーによる入力補助
130		レコードの削除	属性一覧からレコードを削除する
131		選択図形のみ表示	属性一覧で選択した図形のみ表示する
132		レイヤーの複製・移動	属性一覧に表示中のデータを別レイヤーもしくは既存のレイヤーに複製または移動する
133	印刷	表示項目の選択	属性一覧に表示する項目を設定する
134		項目集計	検索された属性データを利用して小計・件数などの集計、集計結果のCSVファイル出力
135		クロス集計	検索された属性データを利用して小計・件数などのクロス集計、集計結果のCSVファイル出力
136		フィールド演算	2つのフィールド間の演算を行い、別フィールドに結果を演算結果を格納する
137		レコードの削除	検索結果一覧からレコードを削除する
138		印刷	印刷
139	印刷	印刷	地図や凡例のなどが表示されたレイアウトファイルをダウンロードする
140		PDF印刷	PDFファイルで出力する
141		プレビュー	印刷結果をあらかじめ画面上で確認する
142		複数印刷枠指定印刷	面表示した地図に印刷枠を複数配置してまとめて印刷する
143		ライン指定による印刷枠設定	ライン図形にそって印刷枠を複数配置する
144		連続印刷	選択された複数の属性とそれに対応する図形を1レコード単位で連続して出力する

No.	分類	機 能	内 容
139		図郭印刷	図郭地図上で選択された図郭範囲だけ印刷する
140		ブラウザ印刷	ブラウザによる簡易的な印刷機能（A3以上は非対応）
141		複数マップ印刷	ひとつの印刷レイアウトに、複数の地図範囲を配置して出力できる
142		ジョブ印刷	印刷ジョブとして登録し、順次実行されたものをダウンロードする
143		印刷縮尺の指定	印刷する地図縮尺を指定する
144		印刷レイアウト	印刷レイアウトをあらかじめ登録できる
145		印刷レイアウト編集	ブラウザ印刷のレイアウトを作成、編集する
146		整飾	画面上で印刷レイアウトを編集する
147		フッター出力	印刷する地図に凡例、タイトル、方位シンボル、スケールバー等を配置する
148		セキュリティテキスト	印刷結果にあらかじめ設定した注意文を出力する
149		地図の中心位置の属性表示	地図の中心位置から属性を取得し、指定したテキストボックスに出力する
150		地図の中心座標表示	地図の中心座標を印刷結果に表示する
151		属性出力	印刷レイアウトに単票もしくは一覧形式で属性情報を出力する
152	出力	属性一覧の出力	属性一覧の内容を印刷レイアウトの別シートに出力する
153		座標値印刷	選択されたポリゴン図形をレイアウトの中心に配置し、頂点のX、Y座標値の一覧付きで出力する
154		画像エクスポート	表示中の地図画面を画像ファイルとして出力する
155		CSVエクスポート	検索等により表示された属性データをCSVファイル形式で出力しダウンロードする
156		位置情報付きCSVエクスポート	検索等により表示された属性データを座標情報（XYまたは緯度経度）付きでCSVファイル形式で出力しダウンロードする
157		一括CSVエクスポート	属性一覧に表示された複数レイヤーの属性情報を一括でCSV形式のファイルに出力する
158		SHAPEエクスポート	検索等により表示された図形データをSHAPE形式で出力する
159		GMLエクスポート	検索等により表示された図形データをGML形式で出力する
160		SIMAエクスポート	検索等により表示された図形データをSIMA形式で出力する
161		DXF/DWGエクスポート	検索等により表示された図形データをDXF/DWG形式で出力する
162		DXF/DWGエクスポート（複数レイヤー）	検索等により表示された複数レイヤーの図形データをDXF/DWG形式で出力する
163		KMLエクスポート	検索等により表示された図形データをKML形式で出力する
164	入力	GPXエクスポート	検索等により表示された図形データをGPX形式で出力する
165		GeoJSONエクスポート	検索等により表示された図形データをGeoJSON形式で出力する
166		SFCエクスポート	検索等により表示された図形データをSFC形式で出力する
167		CSVインポート	CSVファイルを外部属性テーブルとしてインポートする
168		位置情報付きCSVインポート	位置情報が入力されているCSVファイルをインポートし、ポイントレイヤーを生成する 位置情報は以下の3形式に対応 1) 住所（アドレスマッチング） 2) XY座標 3) 緯度経度
169		一括CSVインポート	複数のCSVファイルを格納したZIPファイルでレイヤーの一括登録・更新をする
170		SHAPEインポート	SHAPEファイルをインポートする
171		一括SHAPEインポート	複数のSHAPEファイルを格納したZIPファイルでレイヤーの一括登録・更新をする
172		GMLインポート	GMLファイルをインポートする
173		SIMAインポート	SIMAファイルをインポートする
174		DXF/DWGインポート	DXF/DWGファイルをインポートする
175		KMLインポート	KMLファイルをインポートする
176		GPXインポート	GPXファイルをインポートする
177	計測	GeoJSONインポート	GeoJSONファイルをインポートする
178		GTFSインポート	GTFSフォーマットのデータをインポートする
179		SFCインポート	SFCファイルをインポートする
180		新規レイヤー／テーブル作成	各データのインポート時に新規レイヤー／テーブルを作成する
181		既存レイヤー／テーブルに追加	各データのインポート時に既存レイヤー／テーブルにデータを追加する
182		既存レイヤー／テーブルを代替	各データのインポート時に既存レイヤー／テーブルのデータと入れ替える
183		インポート時の投影変換	座標を投影変換しながらインポートする 対象はSHAPE、CSV（経緯度）、KML、Geojson、GTFS
184		属性更新	インポートしたCSVファイルの内容でレイヤーの属性を更新する
185		外部属性更新	インポートしたCSVファイルの内容で外部テーブルの内容を更新する
186		Exifファイルのインポート	インポートした画像ファイルのExif情報から座標位置の追加と画像のファインリングを行う
187		地図上への画像貼り付け	座標を指定して画像ファイルを地図上に貼り付ける
188		地図上へのGeoTIFF画像貼り付け	GeoTIFFの持つ位置情報をもとに、座標が一致する地図上に画像を貼り付ける
189		距離計測	地図上でマウスクリックにより指定した多点間の距離を表示する
190		面積計測	地図上でマウスクリックにより指定した多角形の面積と周長を表示する
191		図形計測	選択された図形の距離や面積を表示する
192		角度計測	マウスで入力した2本のライン間の角度を表示する
193		円計測	マウスで入力した円の面積と周長を表示する
194		同心円計測	同心円を作成して面積や周長を表示する
195		指定円内の図形計測	マウスで入力した円内に含まれる図形の距離や面積を表示する
196		スナップ	指定したレイヤーの図形に対してスナップしながら計測図形を入力する
197		スナップ設定	スナップ対象レイヤー、スナップ範囲などスナップの条件を設定する
198		計測結果の削除	計測結果の表示を消去する
199		計測結果の座標表示	計測図形の頂点の座標をリスト表示する
200		集計	計測した結果を集計する
201		エクスポート	計測結果をKML形式でエクスポートする
202	編集	図形編集	編集の保存
203		編集のキャンセル	図形編集した内容を破棄する
204		図形の追加	地図上にマウスでポイント、ライン、ポリゴン図形追加する
205		図形の削除	選択された図形を削除する
206		図形の移動	選択された図形を移動する

No.	分類	機 能	内 容
207		図形の複製	選択された図形をコピーする
208		図形の形状変更	作成済みの図形の形状を変更する
209		図形の回転	選択された図形を回転する
210		図形の拡大／縮小	選択された図形を拡大、縮小する
211		図形の属性編集	選択された図形の属性値を編集する
212		矩形の作成	地図上で矩形の対角線をクリックし、矩形を作図する。
213		円の追加	地図上でマウスクリックとドラッグにより円を作図する
214		半径を指定した円の追加	マウスで中心位置を指定し、半径を数値入力して円を作図する
215		円弧の作成	「中心座標」、「半径」、「方向角」、「内角」を指定して円弧を作成する
216		扇形の作成	「中心座標」、「半径」、「方向角」、「内角」を指定して扇形を作成する
217		垂線の作成	選択された線分に対して垂直な線分を生成する
218		平行線の作成	選択された線分と平行な線分を生成する
219		補助点を使った入力	図形入力時の補助となる点を座標を指定して入力する
220		線分作成	始点からの角度と長さを指定して線分を入力する
221		ライン均等分割	線分を指定された数で均等に分割する
222		中心線の作成	入力された複数の線分の中点を結ぶ線分を生成する
223		計測値表示	ライン入力中は長さを表示し、ポリゴン入力中は周長および面積を表示する
224		スナップ編集	指定されたレイヤーの図形に対してスナップしながら編集する
225		スナップ設定	スナップ対象レイヤー、スナップ範囲などスナップの条件を設定する
226		トポロジ編集	隣接するポリゴンについて、共有する頂点を移動することで両方の図形を同時に更新する
227		重なった図形から特定	図形が複数重なっている場合に、図形のIDを使って編集対象を選択する
228		バッファ作成	属性一覧上に表示されている図形に対して一括でバッファを発生する
229	高度な図形編集	メッシュ追加	指定した座標を開始点として、任意の大きさと角度でn×mマスのメッシュを作図できる
230		ポイント→ポリゴン/ライン変換	ポイントデータを、ポリゴンデータ、ラインデータに変換できる
231		一括バッファ作成	空間検索等で検索された複数の図形に対して一括でバッファ図形を生成する
232		分割	選択された図形をマウスで分割線を入力して分割する
233		結合	選択された2つの図形を合成する
234		くり抜き	選択した図形をマウスで入力した図形でくり抜く
235		面重心から点レイヤー変換	空間検索等で検索された複数のポリゴン図形に対して重心にポイントを生成し、新規レイヤーまたは既存レイヤーに登録する
236		空間結合	ポイントレイヤーとポリゴンレイヤーを重ね合わせ、位置が重なる図形について、ポイントレイヤー側にポリゴンレイヤーの属性情報を結合する
237		切り抜き	指定したポリゴンレイヤーと重なる図形を切り抜き、新規レイヤーとして作成する
238		ファイリング	ファイリング登録
239			新規図形登録時または図形編集時に任意ファイルに関連づける
240		ファイリング削除	登録されたファイリングデータを削除する
241		ダウンロード	登録されたファイリングデータをダウンロードする
242		サムネイル表示	登録されたファイリングデータをサムネイルで表示する
243	ポータル機能	簡易作図	図形入力
244			レイヤーを指定せず、一時的な図形（点、線、面、文字）を入力する
245			サイズおよび色を指定可能とする
246		入力図形の消去	入力した簡易図形を指定して消去
247		入力図形の一括消去	入力した簡易図形の一括消去
248		検索	レイヤーの検索
249			キーワード、オーナー、作成日、共有レベルでレイヤーを検索する
250			グループレイヤーの検索
251			キーワード、オーナー、作成日、共有レベルでグループレイヤーを検索する
252			マップの検索
253	各種設定	申請	共有申請
254			レイヤーのオーナーに参照・編集・出力・印刷権限の追加を申請する
255			申請の受理、却下
256			共有申請された内容を確認し、受理または却下する
257		統計情報	共有レイヤーの割合表示
258			レイヤーの共有レベルによる内訳を表示する
259			アクセス数の表示
260			レイヤーのアクセス数の推移をグラフで表示する
261			保有レイヤー数の表示
262			保有レイヤー数をレイヤーのオーナーの所属グループ単位で集計してグラフで表示する
263	その他	お知らせの確認	ユーザーへのお知らせを表示する
264		ヘルプ	ヘルプを表示する
265		マニュアル表示	オンラインマニュアルへのリンクを表示する
266		住所辞書選択	複数住所辞書がセットされている場合、利用する住所辞書を指定する
267		マッチングレベル設定	アドレスマッチング時の制限レベルと希望レベルの初期設定をする
268		お知らせ表示設定	ログイン時に設定されたお知らせを表示する

（２）管理ツール

No.	分類	機 能	内 容
259	グループ	ユーザー管理	新規登録
260			新規利用ユーザーを作成する
261			検索・参照
262			作成済みユーザー、グループの検索および情報を表示する
263			ユーザー名変更
264			ユーザー名を変更する
265			管理者設定
266			ユーザーに対して管理者、責任者権限を割り当てる
267			アカウントロック解除
268			認証失敗回数を超過してアカウントロックされたユーザーのロック解除
269	グループ管理	パスワード初期化	設定済みパスワードを初期化する
270			パスワード変更
271			ユーザーパスワードを変更する
272			グループ登録
273			所属グループを登録する
274			削除
275			作成済みユーザー、グループを削除する
276			CSV出力
277			ユーザーの一覧をCSV形式で出力する
278			新規登録
279			新規グループを作成し、ユーザーを割り当てる
280			検索・参照
281			作成済みユーザー、グループの検索および情報を表示する

No.	分類	機 能	内 容
271	GIS資 源管理	グループ名、グループ略称変更	グループ名、グループ略称を変更する
272		所属ユーザー登録、変更	グループに所属するユーザーを登録、変更する
273		削除	作成済みユーザー、グループを削除する
274		CSV出力	グループの一覧をCSV形式で出力する
275		一括登録	新規登録グループ登録
276			上書き登録
277		ファイルチェック	CSVファイルをチェックする
278		データソース管理	新規作成
279			複製
280			検索・参照
281			データソース名の変更
282			並び順の設定
283			アクセス権限設定
284			一括設定
285			削除
286		マップ管理	新規作成
287			検索・参照
288			レイヤー構成の表示・編集
289			アクセス権限設定
290			削除
291		グループレイヤー管	CSV出力
292			新規作成
293			検索・参照
294			レイヤー構成の表示・編集
295			アクセス権限設定
296		レイヤー管理	削除
297			新規作成（新規テーブル利用）
298			新規作成（既存テーブル利用）
299			検索・参照
300			編集
301			アクセス権限設定
302			一括制限設定
303		レイヤースタイル管理	削除
304			レイヤー共有申請履歴
305			CSV出力
306		属性レイアウト編集	検索・参照
307			編集
308			ダウンロード
309	外部属性管理	属性レイアウト編集	検索・参照
310			編集
311			削除
312		外部属性管理	新規作成
313			新規作成（既存テーブル利用）
314			検索・参照
315			編集
316			権限設定
317			削除
318		プロジェクト管理	検索・参照
319			編集
320			削除
321	コードマスタ編集	索引図管理	マップ検索
322			索引図の設定
323		コードマスタ編集	検索・参照
324			ダウンロード
325	ログ管理	一覧	編集
326			検索
327			二覧表示
328			CSV出力
329	印刷情 報管理	レポート出力	月（yyyy/mm）を指定して利用ログを出力する
330		ブラウザ印刷レイアウト管理	新規登録
331			編集
332			削除
333			コピー
334		Excel印刷レイアウト管理	新規登録
335			一覧・編集
336			削除
337			権限設定
338			ダウンロード

No.	分類	機 能		内 容
339		凡例設定管理	新規登録	凡例設定ファイルをアップロードして登録する
340			一覧・編集	登録済み凡例設定ファイルの一覧および設定の変更をする
341			削除	凡例設定ファイルの登録を削除する
342			ダウンロード	登録済みの凡例設定ファイルをダウンロードする
343		ブラウザ印刷セキュリティテキスト管理	新規登録	セキュリティテキストファイルをアップロードして登録する
344			一覧・編集	登録済みセキュリティテキストファイルの一覧および設定の変更をする
345			削除	セキュリティテキストファイルの登録を削除する
346			ダウンロード	登録済みのセキュリティテキストファイルをダウンロードする
347		Excel印刷セキュリティテキスト管理	新規登録	セキュリティテキストファイルをアップロードして登録する
348			一覧・編集	登録済みセキュリティテキストファイルの一覧および設定の変更をする
349			削除	セキュリティテキストファイルの登録を削除する
350			ダウンロード	登録済みのセキュリティテキストファイルをダウンロードする
351	セッション管理	セッション管理	一覧表示	現在接続中のセッションの一覧を表示する
352			削除	指定したセッションを削除する
353		お知らせ通知	新規登録	ログイン直後に表示されるお知らせメッセージを登録する
354			一覧表示	登録済みのお知らせの一覧と内容の編集をする
355	サポート		削除	登録済みのお知らせを削除する
356			マニュアル	管理ツールの操作マニュアルを表示する
357			サポートサイト	サポートサイトを表示する